



まぎれもなく自分が大切にされている

校長 藤森克彦

政府より、3月2日以降、全国の小中高校に臨時休業を要請するとの報道がありました。

品川区立学校においては、3月2日(月)の午前中は登校日(給食あり)とし、3月3日(火)より春季休業日終了の4月5日(日)まで臨時休校とします。すまいるスクールについては、開設していく予定です。卒業式・修了式等の今後の対応につきましては、区教育委員会より、正式な通知があり次第、印刷物やメールにてお知らせします。詳細は別紙「新型コロナウイルス感染症に係る臨時休業等の対応について」をご参照ください。

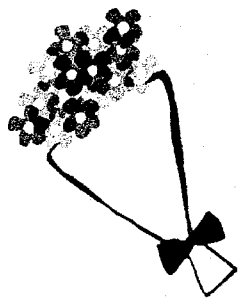
ところで、以前近所の歯医者さんに行ったときのことで、その待合室には子どものために絵本が置いてありました。それを見つけて低学年ぐらいの女の子がお母さんに「この本よんで」とおねだりしていました。お母さんは絵本を手に取り女の子を膝の上に乗せて読み始めました。しかし、女の子の気分はそぞろで、隣の子のおもちゃが気になってしかたがないのです。そこでお母さんは子どもの様子に気がついて途中で読むのを止めてしまいました。するとすぐに女の子は「もう一回」とまたおねだりしました。お母さんは「だってちっとも聞いてないじゃないの」とため息をつきながら、また同じ本を最初から読み始めました。でも女の子はまた隣の子の遊びを見ているのです。それに気づいてお母さんが読むのを止めると、女の子はまた「もっと」と言っていました。

聞く気がないのに「読んで」とせがむとき、子どもはいったい何を求めているのでしょうか。たぶん本の中身が重要なのではないようです。話の中身以上に、お母さんの声が自分に向けられているということ自体が女の子にとって大事なことなのかもしれません。つまり、言葉の意味より言葉が自分に語りかけているというシチュエーションの方が、すなわち、テキスト(物語の意味)よりもテクスチャー(母親の声の質感や雰囲気)の方が、お母さんを独占できる状況に浸っていることができるのです。

子どもが寝付くときも枕元で親が本を読んでくれようとする。果たしてそのとき、淀みない朗読にどれほど心が引かれるのでしょうか。滑らかで声優が読むような上手なものを求めていることではないと思います。忙しくても、無理したり疲れてうとうとしたりしながら自分のために読んでくれる。そういう場面に自分がいられること、まぎれもなく自分が誰かに大切にされていると感ぜられることを望んでいるのではないのでしょうか。

子どもが学校にあがるようになると、親の声も「ちゃんと宿題したら〇〇に連れて行ってあげますからね」というように、親の愛情だけでない社会で生きていくための構図が透かし見えてきます。それは、子どもの成長に伴い、自分の子どもというより社会の中にいる自分の子どもという位置づけになっていきます。また学校も、大人社会のミニチュア版というべき社会の標準としての枠組みの中で活動が進められていきます。

それはそれで大事なことですが、子どもが本当に浴びたい声とは、背後に社会が透けて見えてこない、もっぱら自分のみを宛先としている声に触れること。そして自分(たち)のために絶対的に力を尽くして大人がかかわってくれること。それ自体が、子どもたちに人生を豊かに生きていくための素地が創られているように思えてなりません。6年生もあと1ヶ月で巣立ち、中学校という新しい世界に飛び込んでいきます。そういうときこそ、もっぱら自分のみを宛先としている声が必要だと思えてなりません。6年生の皆さんご卒業おめでとうございます。



年間重点生活目標「正しい姿勢を意識して生活しましょう！」

今月の生活目標

生活のめあて	大-ABCをコンプリートしましょう
保健のめあて	手洗いとうがいをしましょう
給食のめあて	1年間の給食を振り返りましょう



3月の行事予定

※今月は予告なしの避難訓練を実施します。

日付	曜日	主な行事	日付	曜日	主な行事
1	日		18	水	
2	月	午前授業 給食有 保護者会(1・2年)中止	19	木	
3	火	新型コロナウイルス感染に伴う臨時休業	20	金	春分の日
4	水	3月3日(火)~4月5日(日)	21	土	
5	木	保護者会(3・4年)中止	22	日	
6	金	卒業の集い 中止	23	月	
7	土	PTA実行委員会・後期総会 中止	24	火	卒業式 予定 ※詳細は後日
8	日		25	水	修了式 予定 ※詳細は後日
9	月		26	木	春季休業日始
10	火		27	金	
11	水		28	土	資源回収 なし
12	木		29	日	エコキャップ回収 なし
13	金		30	月	校庭開放 なし
14	土		31	火	
15	日				
16	月				
17	火				

4月3日 新年度入学式準備(新6年・新2年) 予定
4月6日 始業式・入学式

生活指導部より

生活指導部 福本 千絵

今月の生活目標は、「大-ABCコンプリート」。今年度は、各月に大-ABCの内容を一つずつ重点的に取り組んできました。一人一人、今までの生活を振り返って「できるようになったこと」と「まだ十分にできていないこと」を考えること、しっかりと振り返って、自分を見つめ直すことはとても大切だということを見童たちには伝えていきます。また、完璧な人はいないので、自分がまだできていないと思うところを分かることが、よりよい自分になるためのスタートだということも伝えていきます。例えば、挨拶はどうでしょうか。「あいさつ隊」が正門に立つほど力を入れている大井第一小学校ですが、自分から心をこめて挨拶をすることができているでしょうか。

新しい学年の心の準備をする1か月です。自分を振り返り、行動することがよいスタートにつながります。「A当たり前のことをBばかりにしないでCちゃんとやる」大-小の802名に今後も期待しています。

「ルーコラム」 「かかわる・創る」

図工専科 畦地 安美

5年生がピタゴラスイッチに取り組みました。図工の班3~5人で協力して取り組みました。それぞれ図工室にある材料を集めて持ち寄り、わいわいと試行錯誤しながら活動していました。思い通りにビー玉が転がると「わあー！」と歓声が上がったり、失敗したら「もっとこうしよう」と意見を出しながら調整していました。図工の「かかわる、創る」は作品や活動を通して他者と通じることだと思います。自分のつくったものを認めてもらったり、友達の良いところを見付けたりすることで自分を高めていくことができます。教師から1を教わり、子ども同士のかかわりの中で、10にも100にも膨らませていくことが図工のよさです。私自身も子どもとかかわりながら図工に関わっています。

今年度を振り返って ～成長した自分～

<1年>

- 4月はたいいくのじゅぎょうでまえとびができなかったけど、2月からはまえとびができるようになったよ。もっともっとれんしゅうして、まえとびが100回できるようにめざしたいよ。
(1年松組 荒井 孝太)
- さいしょはそんなにはしれなかったけど、いまは10ばいはやくはしれるようになったよ。きゅうしよくは、さいしょきれいにたべられなかったけど、いまはかんしよくできるよ。
(1年梅組 澤海 月奈)

<2年>

- ぼくは、2年生になって1年生となかよくできました。1年前は2年生にやさしくしてもらえたから、1年前の2年生みたいになりました。ほかの子にもやさしくしたいです。
(2年竹組 倉地 凌雅)
- わたしは1年生のときははずかしがりやだったけど、2年生になってから手をあげたり6年生をおくる会のせりふを大きな声で言えるようになったりしました。せい長できてよかったと思います。
(2年梅組 中野 綺音)

<3年>

- 私は高い声で歌う時の工夫が分かりました。口をちゃんと動かして歌うと私も楽しい気持ちになってもっと歌いたくなります。もっと成長できるようにこれからもがんばりたいです。
(3年松組 小林 優里子)
- ぼくがこの1年間で成長したことは人前に出られるようになったことです。ぼくは最初人前に出ることが苦手でした。それでだれもいないと思ってやると苦手ではなくなりました。今はすごくうれしいです。
(3年竹組 前田 真寛)

<4年>

- 前まではできなかったことがたくさんできるようになりました。漢字を書くこと。友達に嫌なことをされたら、「やめて」と言うこと。テストで分からないところをちゃんと考えること。自分にとってはすごい進歩だと思う。
(4年竹組 宮城 輝一)
- ぼくが今年度成長したことは、友達を増やせたことです。去年までは、なかなか友達に話しかけられなかったけれど、今年は話しかけることができ、友達が増えてとってもうれしかったです。
(4年月組 清水 睦希)

<5年>

- ぼくは今年度を振り返って、リーダーシップの面が少し成長したと思います。なぜならフレンドタイムの時、去年より上手に指示してみんなに動いてもらうことができたからです。
(5年松組 村上 凜太郎)
- 私は、苦手な算数の復習を頑張りました。少しずつできるようになってきたので、「頑張った分だけ後に自分に返ってくる」ということを意識し、これからも取り組んでいきたいです。
(5年月組 青木 香南)

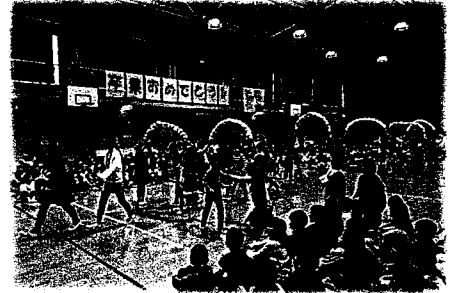
<6年>

- 僕は、今年度「周りに流されず自分に厳しくする」ことができました。フレンドタイムなどで先頭に立つことが多く、下級生を率いることで、自らの行動の大切さと責任感を感じました。流されることは簡単だが、自分に厳しくすることの大切さに気付きました。
(6年竹組 前田 和帆)
- 今年度は、今までに経験したことがないことに「挑戦」した年でした。日光移動教室では、班長係として帰校式で司会をしたり、フレンドタイムでは、下級生をまとめ、遊びを企画したりしました。成功させるためにたくさん練習したことでみんなの前に立つときも自信をもてるようになりました。
(6年竹組 廣瀬 優希)

6年生を送る会

市民科部 清水 沙織

6年生を送る会では、各学年から6年生への真心を込めた発表がありました。1年生はかわいらしい歌と呼びかけ、2年生は卒業検定、3年生はHEROあいうえお作文と楽しい発表が続きました。また4年生からはクラブ活動、5年生からは委員会活動について、リードしてきた6年生への感謝や憧れの気持ちが伝えられました。代表委員会は、司会進行や式次第の準備などで活躍した他、「6年生クイズ」の発表を行いました。中休みなどに集まって、6年生へのアンケート結果を基にしてクイズを作り、発表の練習、パワーポイント作成に取り組み、楽しいクイズで会場を盛り上げました。どの学年の出し物のときも6年生がニコニコしながら見てくれていたことが、とても印象的でした。そして最後の6年生の演奏と歌は、最高学年らしい素晴らしいものでした。もうすぐ卒業を迎える6年生の心に残る1ページになったことと思います。



大井警察署見学

3年担任 小池 絢子

3年生は2月12日（水）に大井消防署へ見学に行きました。大井消防署では、消防士の一日の生活や訓練の様子、消防車や器具のしくみについてお話を伺いました。話を聞いていくうちにどんどん質問が溢れてくる子どもたち。

「こんな時はどうするの?」「みんなの命を守るために準備や訓練をしっかりとしているんだね。」と話す姿がたくさん見られました。学校で学んだ知識をもとに質問する子どもたちを見て、学びの繋がりを感じました。実際に見て学ぶ経験が子どもたちにとって、いい刺激になったように思います。たくさんの人の支えがあって、わたしたちの安全は守られているということを学ぶ貴重な機会となりました。



ステューデントシティ

5年担任 菊池 未希子

働くこととはどういうことなのか、社会のお金の流れについて事前に学習し、当日は、働く人と消費者の両方いないと経済が回らないことについて体験を通して学びました。区役所や、銀行、コンビニ、出版社など10個の組織に分かれて活動しました。その中でも、店長や会計、直接お客様に対応する係など、自分の役割をもってどの会社も、収支が黒字になることを目指し、工夫し、戦略を練っていました。積極的に自分の会社の商品（サービス）を売り込もうと協力する姿を見ることができました。子どもからは「お金を払うのは信頼しているからなので、信頼されることが大切だと思いました。」「お家の人、もっと長い時間働いているから、疲れているのに家事もしているからすごいと思いました。優しくしたいです。」「お客様はもちろん、自社の人や、他者の人と関わることによって会社はなりたっていくと思ったので、色々な人と関わる大切だと思いました。」など、体験したからこそ気付けることがあったようでした。

